

ト 同 (Tong Bu) (前田研究室、博士 3 年) が、Asia Student Photonics Conference 2013 にてベストオーラルプレゼンテーション賞を受賞

大阪大学フォトニクスセンター、OSA(米国光学会)/SPIE (国際光工学会)学生チャプター共催の Asia Student Photonics Conference (ASPC) 2013 では、講演内容、プレゼンテーションなどにおいて優れ、今後の一層の研究活動発展が期待される発表をした学生 1 名に対し、「ベストオーラルプレゼンテーション賞」を授与しています。

ASPC2013 では、新領域創成科学科物質系専攻・物質科学連携講座・前田研究室・博士課程 3 年(講演時は博士課程 2 年)のト 同氏の発表が高く評価され、受賞しました。

講演題目 “Detection of DNA Induced Gold Nanoparticle Aggregation with Dark Field Imaging”

暗視野顕微鏡を用いて DNA 修飾金ナノ粒子の自己凝集を高感度に観察する手法を開発しました。近年ナノ粒子集合体形成を用いた分析法の開発が盛んになりつつあり、それら他の高感度分析法開発に繋がる研究となります。



ト 同氏